

『熊谷の子どもたちは、これができます!』

4つの実践 アクセル

- ①朝ごはんをしっかり食べる。
- ②呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする。
- ③「ありがとう」「ごめんなさい」と言う。
- ④友だちをたくさんつくる。

3減運動 ブレーキ

- ①テレビの時間を減らします。
- ②ゲームの時間を減らします。
- ③携帯電話やパソコンに触れる時間を減らします。

別府小だより

令和7年9月19日(金)

No. 6

学校教育目標

高い目標と自律、共生の心を持った児童の育成

知 進んで学習する子

徳 他人を思いやる子

体 体力・活力のある子



無言清掃から学ぶこと

本校では、生徒指導の重点項目の一つとして「無言清掃」に取り組んでいます。100%定着とはいきませんが、先生方も子供たちも頑張っているところです。では、なぜ日本の学校は掃除をするのでしょうか。国立教育政策研究所の調査によると、欧米などの先進国では、義務教育段階で学校に清掃活動を取り入れている国は少なく、日本、中国、韓国くらいだそうです。欧米では清掃員に任せているところが多いようです。サッカーワールドカップで、試合後、日本のサポーターが応援席のごみ拾いをするすることで、世界から賞賛されましたが、そもそもなぜ掃除をするのでしょうか。なぜ無言なのでしょう。10月の全校朝会や教室で子供たちに考えさせてみたいと思っています。ある記事によると、無言清掃で「5つの心」が育つと言われています。1 みんなのために働く「勤労の心」。2 よごれているところ、困っている友達に気づく「気づく心」。3 自分の場所が終わったら他の友達の清掃を助ける「思いやりの心」。4 教室や校舎に「ありがとう」の気持ちで育つ、「感謝の心」。5 しゃべらず、無言での忍耐力が育つ、「我慢の心」。この別府小で5つの心を育てていきます。文責 深澤 信也

学校でそうじ ひつよう? ひつようじゃない?

なぜ??

ニューヨーク
→落書きの清掃で、犯罪が減った

アメリカ フィラデルフィア
空き地の緑化 (きれいにすること)
→銃撃事件の減少。

きれいなところ
→集中力が増し、学力が高まる。



そうじをよくやる子



床も心もピカピカに!

10月の生活目標 時間を守ろう!

(事前に学習準備・チャイムでスタート)

トイレが新しくなりました!

新しいトイレを使えることに子供たちも大喜びです。「きれいになって、うれしい」など、子供たちの喜びの声がたくさん聞こえました。子供達には、「30年後の別府小の子供達が気持ちよく使えるよう、今いるみんながきれいに、大切に使いましょう」と声をかけました。



FM クマガヤに出演!(9月17日)

「別府小 学校自慢」というテーマで代表委員の児童5名が別府小のよさなど、学校自慢について、FM クマガヤを通じて発信しました。運動会の応援合戦の迫力、校庭が広いこと、学校のマスコットキャラクター「べっくん、ぷーちゃん」、自然が豊かなことなど、別府小の魅力を多くの方々に届けることができました。

